



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和7年7月18日 No. 8
園長 安藤 賢治



持ち味を伸ばす夏に！

～せいぶ万博2025のように～

★大成功！…五感で楽しめました…

いよいよ せいぶ万博当日。こどもたちのわくわくは、最高潮。今まで万博に向けて、象やハンダラ門、国旗づくり等を通して、関心を深めたり期待を高めてきた。実際に民族衣装を着た保護者の人的環境もあり、各パビリオン共大盛り上がり的一天となった。

Ｙや Ｏ が今まで以上に楽しそうに踊る姿に、思わず踊りたいと思えるぐらいに心が動く体験ができたことを感じる事ができた。各国のあいさつも喜んで発し、海外の保護者との交流や文化に親しみをもつきっかけとなったと思う。教師もこどもも保護者も笑顔の一日となり、大成功だと感じている。
(近藤先生の声)



◎『個性＝持ち味』です。

…これを、伸ばす！ 生かす！

➤愛している我が子を熟知しているのが、親です。
愛おしくもあり、時に、「ちょっと、待って？」
「目の前にいる」という近い距離感が、時に、
プラスに、時にマイナスに働きますね。それが、親子です。

*

*

*

★【せいぶ万博2025】の出発点も、“目の前にいるこどもたち”でした。

<この“今”を生かして伸ばしたい> だって、愛おしい存在だから…。

アイデアを出し合いました。やってみよう！と前向きでした。

こどもと一緒に楽しくしていると、「本当に楽しい」「充実の時間」でした。

だから、当日が、笑顔！ 笑顔！ 「また、次につないでいきたいな」と前向きです。

…夏休み…我が子がいつもそばにいる…

(だからこそ、これを 今年も！)

ほんの一寸の一言で
不思議に
大きな力持つ

ほんのわずかな一言が

その一言で
泣かされる

その一言で
がっかりし

その一言で
腹が立ち

その一言で
夢を持ち

その一言で
励まされ

その一言

高橋 系吾

約一か月前からじわりと万博に向けて興味を持てるように種をまいてきたが、こどもたちがこの万博に向けての取り組みを通して、海外の文化や国旗、言語に触れ、興味・関心がとても深まったことを感じている。

また、保護者を巻き込んだ人的環境、教師同士のアイデアや意見の交わし合い等、皆が一丸となって取り組んだからこそ、大成功につながったと思うので、この取り組みでの成功を運動会につなげていきたい。
(近藤先生)

貴重な経験、興味の広がり、一体感、数えきれない収穫のあった「せいぶ EXPO」でした。
(吉里先生)

せいぶ万博 2025

